

## 研究課題名

CREDO-Kyoto Cohort-III  
日本における経皮的冠動脈インターベンション(PCI)および  
冠動脈バイパス手術(CABG)のレジストリー(コホートIII)

## 研究の目的

冠動脈疾患(狭心症や心筋梗塞など)と診断され冠血行再建術(PCIまたはCABG)を受けられた患者さんの特徴と治療法、その後の経過を評価することで、日本の冠動脈疾患に対する冠血行再建術の治療成績と課題を明らかにし、至適な治療を探索することを目的としています。

## 研究の方法

2011年1月から2013年12月に冠動脈疾患に対して初回の冠血行再建術を施行された患者さん(急性心筋梗塞例は血行再建既往例も含む)の診療録と治療経過のデータを解析します。本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の承認を得て実施されています。

## 研究成果発表

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

## 問い合わせ先

研究事務局  
京都大学大学院医学研究科循環器内科  
木村 剛

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、  
上記までご連絡ください。